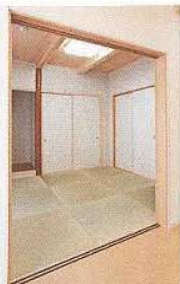


# 兵庫の注文住宅・夏秋号に載りました！



各部屋はもちろん、廊下にも大きな収納が。ほとんど家具がいらないくらいの収納量を確保



柱はすべて4寸のものを使用し、材料を使い、がっちりとした骨組みの家を作っている



空きのスペースができると、こんなこともできます。お子さんが遊んでくれるように。このフロアもそうして生まれたもの。木の床が特別に入っています」とSさん

**家の土台から丁寧に抗酸化溶液を塗布**

抗酸化工法とは、液体の特種薬液を基礎やクロス、集積材に塗布し、シッパハウス症候群の原因となるトルエンやホルムアルデヒドなど化学物質を分解除去する工法。手間はかかるが、発がん性も現場に出ることで、コストに反映させず、標準仕様で施工している。



施工の様子。見えなくなってしまう部分も丁寧に塗り込んでいく

**提案豊富な家づくりHPで実例をチェック**

施主の思いごとことん受け止め、しっかりとプラン提案してくれる会社。今までの経験が「得意」は好評でもチェックできる。支社長が熱い人柄が感じられるブログもリンクしており、こちらも是非チェックしたい。  
http://www.willhouse-art.co.jp/



2階の窓に強化ガラスを埋め込み、窓中に自然光が入るよう工夫されている

もっと詳しく知るにはこちら

お問い合わせ先  
TEL 0120-935-757



兵庫支店 加古川支社 支社長 白矢 公一

**●担当者の目安**  
35万円/坪 半 半施工標準38坪の場合  
1700万円(中心部標準)  
●標準プラン  
(名称) [WILLHOUSE] (名称) 標準木造住宅  
(工法・構造) 木造軸組+耐力壁 抗酸化工法  
(標準工法) 2階分付  
(標準の目安) 35万円/坪 (施工標準38坪の場合)  
(保証の範囲) 床下の外観のみである基礎・柱・ハリなどすべて一式に大工・電気・水道・暖房・換気・空調・外装下地には「あんしんボード」を採用し、通常の建築工法よりも、躯体上を確保している。また、シロアリやカビ菌等の発生から木材が腐るなど化学物質を積極的に処理で除去。健康面に配慮した新しい工法を採用。  
●施工対応エリア  
近畿圏から甲斐信濃の範囲  
●アフター保証  
(特)住宅あんしん保証による住宅性能保証責任保険。  
(限)住宅性能保証による住宅性能保証責任保険。保証期間が経過した後も、1年～10年までの安心保証サービスを実施

**●会社概要**  
(設立) 1985年2月  
(資本金) 4000万円  
(従業員数) 20名  
(FAX) 075-803-1023  
(URL) http://www.willhouse-art.co.jp/  
(E-mail) wkh@willhouse.co.jp  
(法人認可工法) 木造軸組、重量鉄骨、軽量鉄骨、鉄筋コンクリート、S工法  
(建築士事務所) 2500㎡、3000㎡ (過去実績)  
(建設許可番号)  
(建設業許可) (特) 第22914号  
(建築業許可) (特) 第22914号  
(建設業許可) (特) 第22914号  
(建設業許可) (特) 第22914号  
木工部一式、不燃物付外装資材  
(認定第一種)  
兵庫県 加古川支社 / 兵庫県加古川市加古川町粟津771-11



リビングから眺望、キッチンへとくると回遊できる開放感。お子様も大のお気に入り。「この家に住むようになって、子どもがすぐ来るようになったんですよ」とSさん。抗酸化工法で健康的に過ごせるお住まいに満足です。(写真の写真はすべてS氏邸)



障りがない階段スペースもこの通り。手すり下に製作されたニッチも開けられたので、「新しい家づくりの楽しさ、さすが」と感じています



玄関横には大きな土間収納。外から得たその定で、自転車もボールも楽々仕舞える



片流れの屋根がシャープな印象の外観。白とオレンジのやさしい色合いで街並みに馴染む

## 選りたい会社がきっと見つかる 注文住宅レポート

### 職人魂の支社長が全力で取り組む コストを省き、健康配慮の家づくり

- このレポートの見どころ
- 家づくりへの一途な思いと現場経験を活かし、提案
  - 化学物質を吸収する抗酸化工法を標準採用
  - 健康記録
  - 支社長自ら現場に出て人件費を省きコスト圧縮

感謝とお陰の精神で家づくりに取り組み創業建築企画、写真の施主Sさんは同社社長の一人に輝かされた部分が大いですが、構えず飾らず話せる、職人出身で今も現場で仕事を続ける支社長の提案は、とても現場力がありました。設計段階での提案は、もちろん施工が始まってからも、材木の切れ端を利用してニッチの木枠を作ったりと壁む以上の提案をしてくれた、とSさん。何より、家づくりを楽しんでくれて、お任せできて本当に良かったです。

同社フリープラン住宅「WILLHOUSE」なら、化学物質を吸収する溶液を塗る抗酸化工法が標準施工。クロスや集積材、石膏ボードなど、丁寧に塗り込んでいく。オプション費用なしで対応する理由について、白矢支社長はこう話す。「家はお客様の財産。健康的に住む家を作れないのなら、僕は建築の仕事をやめません。」

職人出身の白矢支社長は、今も自ら現場に出て、仕事を促す。「人件費を抑えることで、いい材料を使ってもいい家を作れますから。」Sさんが惚れ込んだのは、こんな支社長の家づくりへの一途な思いだ。

この度、(株)創美建築企画兵庫支店加古川支社 WILLHOUSEとして兵庫の注文住宅と言う雑誌に記載されました。SU様、取材へのご協力・コメント等、誠にありがとうございました。心より感謝致します。少しでも多くの皆様に当社の事を知って頂き、その上で今までのお客様と同様、いい家を適正価格で提供する事が出来る様に日々精進して参りますので今後共々よろしくお願い致します。

御用聞き しらやこういち

# SK加古川通信

第43号  
平成22年7月  
SKグループから5版  
御用聞き  
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画  
本社 京都市伏見区南寝小屋町53番地  
WILLHOUSE  
兵庫支店加古川支社  
加古川市加古川町粟津771の11



## 実家のお風呂工事



先月号にも記載させて頂いていた実家のお風呂の件なのですが、何とか無事に工事を終えることが出来ました。私の実家は平岡町にあるのですが、私が生まれた年に建ちましたので築40年、じいちゃんが建てた最後の家だそうです。じいちゃんの形見なので親父はとっても大切にしています・・・がお風呂にペンキはいけません。(笑)親父も自分で何とかしようとしたので、それは偉いと思うのですが、ペンキはねえ～・・・と言う事で入替える事に、しかしよく40年ももったものです。まめに親父が修理していたようですが、さすがに床や壁のタイルは傷んでいるので水が廻り、土台などは腐っていました。昔の在来のお風呂は100%そんな事になっています。今のお風呂では考えられない事です、昔はそれが普通だったようです。ご実家などでまだユニットバスやシステムバスに替えられていない方は早めにお風呂を入替えた方が良いですよ。なんせ柱まで水が廻ったりすると工事もおおごとになってきます。またそんな湿った土台や柱はシロアリの絶好のご馳走になってしまっただけで食べ荒らされたらえらい事ですよ。その際には、是非私にご相談下さい。極力安く済むようにご提案させて頂きます。一度やってしまえばよほどの事が無い限りさわる必要は無くなります。実家のお風呂はパナソニック電工の1216サイズ・ココチーノSを入れました。洗面所廻りもさわらなくていいと言っていました、いくらなんでも洗面所にじゅらく壁はねえ・・・と言う事で勝手にクロス仕上げに替えてしまいました。後で親父はやっぱりこっちの方がええわ～との事、そりゃそうでしょ!たまには息子を信用なさい!なんてね～なんとかが喜んで頂けたようです。よかったよかった。(嬉)

### 御用聞きのひとりごと・・・

先日、大西会長率いるSKグループのみんなと共に石川洋先生の魂源実践会と言う勉強会に参加させて頂きました。SKグループとは(株)創美建築企画・(株)ピュアロージュ・(有)シャレークをひっくめてSKグループです。魂源実践会は毎年大阪の聖徳太子のお墓のある叡福寺にて行われています。私も5回目の参加になるのですが先生のお話の中で、旧松下電器(パナソニック電工)の勉強会に松下幸之助さんから講師として招かれた時に幸之助さんが言っていた言葉があり、生き方の問題として「人と比較して自分が劣っているからといって決して恥じる事では無い、それよりも去年の自分自身と比較して劣っているとしたら、それこそ恥ずべき事である。」と言うお話に人生のあるべき姿だなと思ったそうです。私自身はどうだろうと色々考えさせられ、自分を見直す機会を頂きました。そしてウサギとカメのお話が印象的でした。本来このお話はウサギとカメの競争のお話で負ける訳がないとウサギが居眠りしている間に一生懸命なカメが抜かして行き勝利を得ると言うお話でどんなに速いウサギでも油断をしていたら負けてしまうと言う事と、遅いカメでも一生懸命に行けば必ずゴールにたどり着く事が出来るというものです。それに加えて石川洋先生は「遅れてもよい、寝ているウサギさんを起こしてあげられるカメさんに私はなりたい。」とおっしゃいました。そう言う生き方を続ける事が素晴らしいと・・・お互いが一生懸命であって、お互いを励まし合いながら同じ目標に向かって頑張る事、深いなと思いました。その他色々仕事に対する姿勢や生き方など色々となお話をさせて頂きました。そして一番印象に残ったお言葉が「自分がいたらない人間だと自覚すること、自分の出来る事で人様のお役に立つこと」私に出来る事・・・それは建築を通じて人様のお役に立つこと、私自身まだまだいたらない人間ですが、人様に必要として頂ける事に感謝して、お仕事がある事に感謝して日々精進して行きたいと思っております。いよいよ夏本番ですね。暑中お見舞い申し上げます。皆様も熱中症や夏バテに注意して水分補給もしっかり取ってご自愛ください。暑さに負けないようにお互いがんばりましょうね。

